

編集後記

第25巻から会誌の内容が少し変化してきたことに気づかれていましたでしょうか。北海道整形外科外傷研究会は、北海道整形災害外科学会の場合よりもっとフランクに外傷について語り合う場として、これまでも機能してきたと思いますが、2007年より「教育研修セミナー」を開催したり、日程をこれまでの2月・8月の土曜日開催にこだわらずに日曜日に研修セミナーとともに開催したり、現在佐久間代表・土田副代表の体制のもと試行錯誤の最中です。第25巻には札幌外傷整形外科カンファレンス（SOTC）の変遷と第38回のSOTCプログラムと抄録を掲載しました。SOTCは北海道整形外科外傷研究会よりもさらにフランクに整形外科外傷の症例を検討しあう場として、第40回まで札幌市内で開かれてきました。札幌市外の先生には案内に不徹底もあったかと思いますが、北海道整形外科外傷研究会の会誌の場を借りて、その内容を今後も紹介していきたいと思います。第26巻には、第39回・40回のSOTCのプログラムと抄録のほかに、－2010年度 北海道内における外傷領域の研究会・セミナー開催日程の抜粋－を参考に載せましたので、多くの先生に参加していただき道内の整形外科外傷領域のさらなる発展の場としてそれぞれの研究会・セミナーが機能していければ幸いです。

今回の教育研修講演は『大腿骨近位部骨折を伴う高齢者の歩行能力と予後』の石田洋一郎先生と、『小児の上肢の骨折・骨端線損傷の診断と治療』の麻生邦一先生に投稿していただきました。いずれも会員にとって明快的なtextとなります。ありがとうございました。

第25巻から編集係としての任務を与えられましたが、今回の第26巻から主として会誌編集に関わらせていただくこととなりました。今まで査読される立場にあったものが、著者校正で修正をお願いすることもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

(畑中 涉)

編集係 佐久間 隆
土田 芳彦
畑中 涉
辻 英樹

北海道整形外科外傷研究会会誌 第26巻

平成22年3月31日

編集・発行 北海道整形外科外傷研究会

代 表 佐久間 隆

事 務 局 札幌市中央区北11条西13丁目

市立札幌病院 整形外科内

(昭和60年3月2日 創刊)

印 刷 富士プリント株式会社